



HOT NEWS_鬼北町人材育成ふるさと基金海外研修

異国の文化を学び、自国の文化を知る

初めての体験と新たな気づき
そして、成長する心

1



海外での生活を通じて、語学や異文化を学ぶ「鬼北町人材育成ふるさと基金海外研修」。今年は、広見中3年相原遙さん、桐山奈々さん、芝太一さん、駄場寛人さん、横山茅紘さん、日吉中2年奥藤未知さん、丹下翔太さんの7人が、8月16日から25日までの10日間、オーストラリアのブリスベン市で研修を行いました。期待と不安を胸に旅立った海外研修。その生活の中で、ホストファミリーやクラスメイトとの交流を通して、さまざまな経験、発見をした生徒たちに感想を聞きました。

改めて知る 日本の文化の魅力

広見中学校 相原遙

この海外研修で私は、日本の良い所をたくさん発見することができました。その中でも、私が特に感じたのは、相手に敬意を伝えることのできる「敬語」があるという点です。海外研修に参加する前、私は、敬語があることで、相手と心を開いて話しくくなるのではないかと思っていました。しかし、海外では誰に対しても同じ態度・言葉だったので、敬意を忘れそうで、少し怖かったです。十日間では分からなかったことが、まだまだたくさんあると思います。今後はもっと英語を学び、将来、もう一度海外へ行きたいです。

文化の違い実感 多くのことを吸収

広見中学校 桐山奈々

私は、この研修を通して国によって文化が違うことを実感しました。また、ホームステイや小学校との交流で、英語でのコミュニケーションがとれるようになった気がします。それと同時に改めて日本の良さにも気づくことができました。オーストラリアに行かせていただき、たくさんの方が学べたことに感謝しています。本当にありがとうございました。

戸惑いの連続、 そこから気づいたこと

広見中学校 芝太一

僕にとつては初めてのことでばかりで、戸惑うこともたくさんあったけど次第に慣れていき、それが当たり前になるくらいとけこむことができました。日本とオーストラリアでは全く違う習慣ばかりで驚いたけど、日本の生活とどう違うかなどたくさんの方に気付くことができました。研修を通して自分の伝えたいことを相手にはっきり伝えることができるようになったのも成長です。今回学んだたくさんのお話をこれから生活に生かしていきます。